教員の資質能力の向上を図る、学習プログラムの実践

ネイパル足寄

子どもの心に響く！ 教育課程に関連した体験活動プログラム研修

1　事業のねらい

教育課程への位置付けを意識し、教科等の目標や内容を踏まえ、体験活動のねらいを明確にした学習プログラムを学び、実践することをとおして、教員の資質能力の向上を図る。

2　事業の概要

■期日　R6.12.26(木)
■対象　市町村立学校及び道立学校の教員
■人数　4 名　(内 2 名オンラインによる参加)
■場所　ネイパル足寄

3　プログラム

9:10	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～13:30	13:40～15:10	15:20～15:50	15:50
受付 9:25 開会	講義 教科等の目標や内容を踏まえた体験活動プログラムの事例について （防災教育など）	講義・演習 屋外での活動とリスクマネジメントについて （理論編）	実践（昼食）休憩 屋外での活動「野外炊飯」とリスクマネジメントについて （実践編）	講義・演習 1 泊 2 日宿泊研修の企画立案～利用計画書の作成～について	講義 学校教育と社会教育の連携について （専門的教育職員である社会教育主事の役割など）	閉会 16:00 解散
オンライン参加可能			オンライン参加不可	オンライン参加可能		

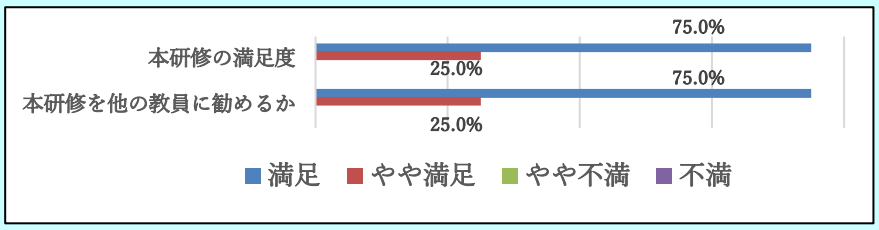
4　ねらいを達成するための活動の工夫

■教科横断的な学びや児童生徒の主体性を引き出す工夫など、体験活動を通じて育成される資質・能力について解説
・教科の目標や内容を踏まえた体験活動の具体的な事例紹介や企画運営のノウハウ、効果的な体験活動のためのリスクマネジメント等、社会教育施設の実践と研究結果に基づくデータを活用したプログラムを実施した。
■各校の教育課程とマッチする体験活動プログラムの紹介
・参加者は勤務校の年間指導計画をもとに、宿泊学習の位置付けを意識した体験活動プログラムを作成した。宿泊学習において児童生徒が身に付ける力を明らかにした上で、参加者自身が体験活動プログラムを考えられるようサポートした。

オンラインを利用し参加者同士が活発に交流する

自ら体験すると教育的価値がより理解しやすくなる

5　事業の評価



■参加者アンケートから
・研修全体及び各プログラムへの満足度が概ね高いことから、参加者のニーズに沿った内容であったと考える。
・「学校教育の課題を改善するために社会教育との連携が有効だと感じた」など、社会教育について参加者の新たな気付きがあったことが分かった。

6　ねらいを踏まえた成果と課題

●子どもを取り巻く今日的な課題やこれからの学校教育に求められる教員の資質・能力を踏まえて事業を企画・運営することで、参加者の期待に応え、学校が求める社会教育プログラムを構築することができた。
○参加者を今後増やしていくために、効果的な周知の方法や教員が参加しやすい時期を考えていく必要がある。

企画のポイント

学校教育の今日的な課題に即した社会教育プログラムの企画立案